

2018年度 日本生活学会事業計画

(2018年4月1日～2019年3月31日)

I. 事業活動

- 第45回総会・研究発表大会開催 2018年5月26日(土)27日(日)
慶応義塾大学 湘南藤沢キャンパス
- 生活学プロジェクトの運営

II. 役員会開催

1. 理事会
2. 『生活学論叢』vol.33、34 編集委員会
3. 今和次郎賞2018選考委員会
4. 日本生活学会研究論文賞2018選考委員会
5. 日本生活学会博士論文賞2018選考委員会

III. 出版物発行・メールニュース配信

- 2018年5月 「第45回研究発表大会梗概集」
- 2018年9月 『生活学論叢』vol.33
- 2019年3月 『生活学論叢』vol.34
- 『日本生活学会フィールドワークシリーズ』
- 日本生活学会メールニュースの配信

IV. 委員会活動

1. 総務委員会

委員長 藤木竜也

- (1)総会、理事会他運営
- (2)庶務・財務・会計の管理
- (3)生活学論叢への学会記録掲載

2. 学術委員会

委員長 中野紀和

- (1) 慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス (SFC) において第45回日本生活学会研究発表大会を開催する。
- (2) 研究者の育成、支援の一環として、第5回目の日本生活学会博士論文賞の募集を行なう。

3. 『生活学論叢』編集委員会

委員長 高田知和

- (1) 『生活学論叢』第33号、第34号の刊行
第33号 2018年9月発行予定
第34号 2019年3月発行予定

4. 事業委員会

委員長 土居浩

- (1) 2015年度に発足した研究助成事業「生活学プロジェクト」の第4回目(2018年度)を引き続き実施する。なお、2017年度に確認された課題に応じて、一定のルール作りを行う。
- (2) 事業委員主体のセミナー・シンポジウムの企画開催・他団体との交流を図る。
- (3) 既往の各種事業に対する状況確認・制度支援を行う。

- (1)ウェブサイトの運営 適宜会員向けの情報発信を行う。
- (2)メールニュースの運営 適宜会員向けの情報発信を行う。
- (3)フェイスブックの運営 適宜会員向けの情報発信を行う。
- (4)日本生活学会の 100 人 若手学会員等を対象にインタビューを行い、記事を作成してウェブサイトで開催する。2018 年度は 6 名の記事を作成する。

V. プロジェクト活動

1. 生活学ヘリテージ・プロジェクト

代表者 小林多寿子

- (1) 2018 年度は、生活学ヘリテージ・プロジェクト成果を通して日本生活学会の歴史を記録し、学術資料としての充実をはかり、学会員の円滑な活用を支援する。

2. 『日本生活学会フィールドワークシリーズ』作成プロジェクト

代表者 石川初

- (1) 会員相互で共有して教育や研究に資する事を目的に、活動年限 5 年の最終年度の活動として、企画テーマを設定して冊子を編集・制作する。様々な形でフィールドワークを実践されている会員に依頼して事例を収集、年度内にまとめる。
- (2) 主な成果はウェブサイトを通して公開するほか、500 部程度の冊子を印刷、会員に送付する。

以上